

SC経営士会【主催者セミナー】開催！

タイトル 『SCの未来を語ろう』～体感するSC・スポーツ×商業の可能性～

日時 2025年1月24日（金）14:30～15:30

会場 SCビジネスフェア会場（パシフィコ横浜）セミナー会場A

内容 近年大きな注目を集める「SCとスポーツの関係性」を事例研究
体感・応援・リアル×DXでSCの可能性を模索し持続可能性も追求する
業界内外の先駆者を招き、最新事例のSC導入可能性や事例を共有

登壇者 東京ヴェルディ(株) コンシューマー事業部 スクール・SDGs部
マネージャー 奈良 彬

(株)スマートスタート 代表取締役 奥島 康志

(株)京王SCクリエイション SC営業部
京王聖蹟桜ヶ丘SC・京王高幡SC・京王多摩センター SC 支配人 山路 直

コーディネーター

(株)トリニティーズ 代表取締役
SC経営士会 業務広報グループ 副グループ長 中山 亮

※開催イメージ



×



×



◆所属先・部署・役職に変更がありましたらお知らせください。

◆「SC経営士会ニュース」に対するご意見・ご感想は、こちらにお願いします。

SC経営士会 業務広報グループ 田部井(17期) ktabei@gms.tokyo-dome.co.jp

SC協会 SC経営士会事務局 sckeiishikai@jcs.or.jp

アイデアソンで SCの未来をつくろう・かたろう！

最新テクノロジー（生成AI）とSC経営士の知見を融合し
ショッピングセンターの未来を切り拓く

— 成果発表会・開催概要 —

【開催概要】

- 実施日時 : 2025年1月22日（水）15：50～17：10
①基調講演 15：50～16：05 ②アイデアソン成果発表会 16：05～17：10
- 会場 : パシフィコ横浜 アネックスホール [アネックスホール | 施設ガイド | パシフィコ横浜](#)
- その他 : 参加費無料・申込不要・SC経営士以外の方も聴講可能となっております。

【基調講演】

小樽商科大学 大学院商学研究科 教授 猪口 純路（敬称略）

『ショッピングセンター業界を視るマーケティング理論のこれまでとこれから』

【アイデアソン 4つの発表テーマ】

各テーマに関心のあるSC経営士が会社の垣根を越えて約4か月間のアイデアソンを実施。
当日は各チームがSCの未来を切り拓く提言を行います。※詳細は次ページ参照

01

マーケ
ティング

コロナ禍を経て急激に変化する消費マインドに対し、SC運営に求められるマーケティング手法とは？

02

テナントと
DVの関係

リアルの価値が変容する中、テナントがSCに求める価値とは。またDVがテナントに求める価値、提供価値とは？

03

地域連携

過当競争期にあるSC業界において、地域との合意形成手法や具体的な連携イメージとは？

04

ESG

施設・企業の持続的な繁栄のため、“事業”としてESGを捉え、ESGの経済価値を可視化する手法とは？

協力会社：株式会社VIG（Vision Incubate Group）

【コメンテーター】

小樽商科大学 大学院商学研究科
教授 猪口 純路



小樽商科大学卒、神戸大学大学院経営学研究科博士後期課程。修士（商学・神戸大学）広島市立大学国際学部准教授を経て、2012年より小樽商科大学准教授、2015年より小樽商科大学、大学院・商学研究科アントレプレナーシップ専攻、教授。

一般社団法人日本ショッピングセンター協会
SC経営士会 会長 藤木光広

（イオンモール㈱ 専務取締役 管理担当）



イオンモール株式会社入社以来、主にショッピングセンターの管理・運営およびリーシング業務に従事し、現在は管理担当専務取締役として、地域共創を支える人材育成などに取り組む。2020年5月から（一社）日本ショッピングセンター協会 SC経営士会会長に就任し、現在に至る。

一般社団法人日本ショッピングセンター協会
SC経営士会 副会長 三輪美恵

（㈱JTB 常務執行役員 地域交流・CX推進担当）



東日本旅客鉄道株式会社入社。商業施設の開発・運営、コンサル、新規事業、海外事業、品川大規模開発などの仕事に取り組み。2017年東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 事業創造本部部門長、2022年6月より株式会社JTB常務執行役員就任。地域交流とCXを担当。

01. マーケティング

タイトル	SC 運営におけるマーケティングの「虎の巻」：AIを活用した運営サポートツールの開発	
テーマ	SCは規模の拡大や人手不足を背景に、より効率的な運営が求められています。そのノウハウは属人的で蓄積、体系化されていないと想定されます。ノウハウ蓄積する仕組みと営業データ分析にAIを活用したツールを開発し、SCとスタッフが成長する未来を目指します。	
メンバー	廣島兼太郎 佐野元亮 松下雄一 塚本晋一 土屋李子	大和ハウスリアルティマネジメント株式会社 株式会社リゾーム 三菱地所株式会社 株式会社bird 株式会社ルミネ
サポーター	株式会社ジェイアール東日本都市開発 齋藤 彰	

02. テナントとディベロッパーの関係

タイトル	クロスサポート～SC特化型 人財マッチングサービス～	
テーマ	テナントから人口減により店舗スタッフが集まらず営業を継続できない、出店できないという声が増加している。顕在化しているテナントの「人財難」に、多様な人材がリアルに集まる強みを持つSCならではの解決方法を提案する。	
メンバー	羽尾京士 石川直樹 熊井友和 大熊則宏 廣瀬快児	イオンモール株式会社 イオンモール株式会社 株式会社博多ステーションビル 株式会社ジェイアール東日本都市開発 株式会社丸井
サポーター	株式会社トリニティーズ 中山 亮	

03. 地域連携

タイトル	『SC型地域連携合意形成ツール』の活用による地域連携の深化、最適化	
テーマ	長期に渡って地域と共生する。そのために、「地域との関係性を強化」し、「地域との意思疎通力の強化」を図ってゆく必要がある。地域のステークホルダーが私たちSCに寄せる期待や要望等を適宜收拾しAIを用いて合意形成を獲得するシステムを提案し、SCの未来を創造する。	
メンバー	大島俊明 佐藤ちひろ 南部卓也 蓮池美砂絵	西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社 大和リース株式会社 株式会社新都市ライフホールディングス 東急株式会社
サポーター	株式会社イマジネーションプロみなみかぜ ハーレイ・岡本	

04. ESG

タイトル	SCにおけるESGの経済価値への可視化	
テーマ	世界で注目の高まる企業のESGに対する取組み姿勢。日本でもGen Zを中心にESGの観点は個人の消費感度にまで影響を与えており、生活の質と密接に関わりつつある今、生活を豊かにするSCこそ、お客さまの様々な消費のシーンでESGを感じられるように事業に反映すべきと考える。そのために、経済価値化することが難しいESGに関する取組みを可視化し、事業反映しやすいシステムをAIを活用して構築したい。	
メンバー	舘澤瑛美 佐藤勝彦 若狭美穂 大當充仁 桂智史	イオンモール株式会社 住商アーバン開発株式会社 野村不動産株式会社 JR西日本山陰開発株式会社 JR西日本京都SC開発株式会社
サポーター	株式会社プレイド 徳山 正実	

【本プログラムへのマイルストーン】

会員間連携と共創による「新たな価値創造」

グループワーク（チーム共創型アイデアソン）

01 キックオフ

9/20(Fri)

02 中間発表

11/29(Fri)

03 最終発表

1/22(Wed)

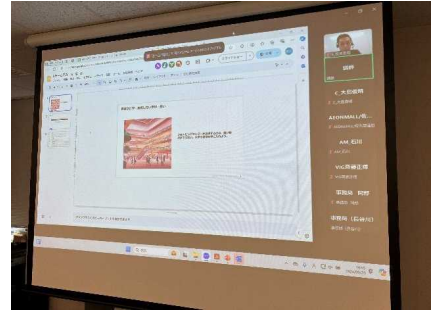
【キックオフミーティング】



Kick-off Meetingスタートです!!
まずは、企画趣旨説明とご挨拶!!



グループ発表をするAチームの皆さん



お互いを知る・ビジョンを描く。課題の絞りこみとアイデアの具体化。新規事業の原理原則等を学び、最終成果物の作成に取り掛かります。

（参加者の声）

1、本取組（アイデアソン全体）にどのような目的を持って参加されましたか。

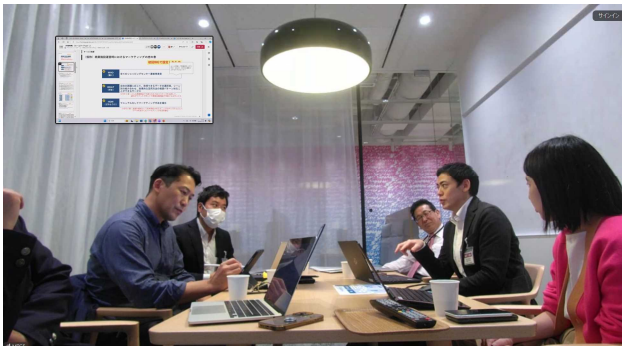
- ① SC業界の他社でどのような課題意識をもっているか知見を広げるため。また、自分の新規事業開発経験を積むため。
- ② 正解のない問いに対して会社の枠を超えて真剣に向かい合うことで自分なりの正解を見つけていきたい。
- ③ 生成AI活用のノウハウを蓄積したい。

2、9月20日キックオフミーティングに、参加されていかがでしたか？

- ① 今回、限られた時間の中で自己紹介・生成AI・議論・個別作業・成果物作成までを行う経験はあまりしたことがなく刺激的でした。
- ② 限られた時間でどのように課題認識をチームで共有し、結論を導くかの訓練になったこと。また事前ワークシートや生成AIの活用により論点整理をする経験はとても良いものでした。

【会議・中間発表の様子】

日々の会議・交流の様子



中間発表の様子



『アイデアソンでSCの未来をつくらう・かたろう』
中間発表

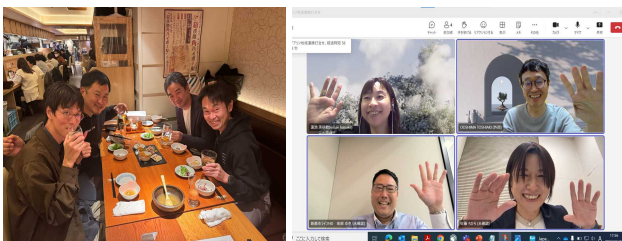
2024年11月29日
SC経営士会 研鑽・研究グループ

【日々の会議・交流の様子】

各チーム、オフライン・オンラインでの定期会議を行い、アイデアを詰めています。たまには食事会を通して交流を深めることもしています。

【中間発表の様子】

中間発表は、全員オンラインで参加。
各チーム、プレゼンターによる中間発表を行い、講評をいただき、最終発表に向けてのブラッシュアップを行います。



SC経営士ブースにお立ち寄り下さい！

- ・SC協会／SC経営士ブースは、『発見マルシェ』（ディベロッパーゾーン）に設置されています。3日間、SC経営士が基本的に常駐しています。

【下記のようなお問合せや相談もお気軽にお寄せください】

- 1、SC経営士試験に関するご相談
- 2、SC経営士会へのご意見やご相談
- 3、SC開発／運営全般に関する相談
- 4、アイデアソン等SC経営士会活動へのご意見
- 5、SC協会への入会相談・セミナーのご相談等

【SC協会／SC経営士会ブースの位置（赤枠部分）】



私も時々ブースに顔をだしています。SC経営士同士の交流と相談「SCのリアル」を体感しにぜひお越しください！

業務広報グループ 田部井グループ長・SC経営士（17期）・SCアカデミー（6期）

「SCの今後」を考える研鑽研究活動を行っています！ブースでもぜひSCの未来を一緒に語りましょう！！

研鑽研究グループ 佐久間グループ長・SC経営士（24期）



ブース責任者を務めます。皆さまの忌憚なき意見やSC経営士試験に関する相談・「SCの最新事例」をぜひお話ししましょう！

業務広報グループ 中山副グループ長・SC経営士（22期）

【編集後記】

早いもので、1月も半ばを過ぎようとしていますが、新年おめでとうございます。また業務でご多忙のなか、目前に迫ったSCビジネスフェアの準備を推進いただいている皆様には、この場をお借りし、深く御礼申し上げます。

さて、昨年は年始より大きな災害や事故に見舞われた、波乱の一年でしたが、本年も国内外の不安定な政治体制や安全保障、また経済面では、業界を揺るがすような大企業間の合従連衡が発表されるなど、先を見通しにくい情勢であることは周知のとおりであるところ、わが業界に目を向けると、各地域、各館にて置かれた状況に差異はあるものの、人流の回復やインバウンド需要の取り込みにより、堅調に推移しているという声も多く聞かれます。一方で、人手不足や人件費の増加、エネルギーコストや工事費の高騰、そして金利上昇など、その影響拡大は留まることを知らず、事業を担う我々にとっても頭の痛いところです。もちろん事業として、企業として、生き残りを図るため、こうした環境変化に対応していくことは、目下避けられないことでありますが、さらにその先の将来を担う若者の夢や、置かれている環境について調べてみると、一人当たり名目GDPや企業時価総額など、日本経済の「失われた30年」の影響は根深く、「自分の人生に目標や方向性がある」「将来の夢を持っている」と回答した日本の若者は6割弱にとどまり、アメリカ、イギリス、中国、韓国、インドなどから20ポイント以上も低い結果であったそうです。一方で環境や地域社会、サステナビリティに対する高い関心が示されていることもご高承の通りであり、フランスの画家、ポールゴーガンンの代表作「我々はどこから来たのか 我々は何者か 我々はどこへ行くのか」に倣えば、こんなことがいえるでしょうか。

高度経済成長期に、地域社会の豊かな生活を支えるインフラとして産声を上げた我々は、昭和後期から平成の時代にかけて、拡大する消費を取り込みながら、不動産事業、小売事業、ときに交通事業の枠を越えて今日の姿に成長した。しかしこれまで業界を支えてきた社会構造が変化するなか、次の世代にも支持される、夢のある社会インフラとして、存在意義を発揮し、将来の担い手を育てるために、いま、業界のリーダーである我々SC経営士は何を目指していくべきか？

言い換えれば「志」ということになりますが、全体最適と部分最適、中長期戦略と短期戦略で、ときに相反する矛盾に苦しむことも少なくないところ、SCビジネスフェアでの交流もヒントにしながら、この「志」を再確認する機会にしていきたいと思っております。本年も、よろしくお願いたします。

担当：今井（16期）